



データベースの概要

飲食物に対してアレルギーのある患者さんへの投与制限に関するデータベースです。

処方薬とのアレルギーチェックを行うことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている飲食物に関する全てのアレルギー情報を網羅しています。

データベースの特徴

6段階のレベル分け

添付文書の飲食物アレルギーの情報を以下の6段階のレベルに区分しているため、選択したレベルの範囲でチェックを行うことが可能です。

	レベル	添付文書の記載表現
高	禁止	禁忌、禁止、投与しない、投与を避ける など
	原則禁止	原則禁忌、原則として禁止、原則として投与しない など
	相対禁止	有益性が危険性を上回る場合にのみ投与 など
	希望禁止	投与しないことが望ましい など
	慎重投与	慎重に投与する など
低	注意	注意、留意 など

データベースの機能

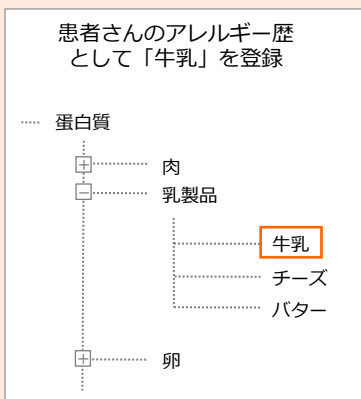
飲食物アレルギーと処方薬のチェック

問診などにより得られた飲食物アレルギー情報を予め登録しておくことで、該当するアレルギーをもつ飲食物原料から製造されている薬品が処方された場合に、アレルギーチェックを行うことが可能です。

例

患者情報として予め「牛乳」のアレルギー歴を登録しておく、

『エネーボ配合経腸用液』が処方された場合に、「禁止」のチェックがかかります。



『エネーボ配合経腸用液』の添付文書（抜粋）

【禁忌】

牛乳タンパクアレルギーを有する患者〔本剤には牛乳由来のタンパク質が含まれているため、ショック、アナフィラキシーを引き起こすことがある。〕

禁止

高品質な医薬品情報データベースで様々な課題を解決

データインデックスの医薬品情報データベースは、薬剤師や専門スタッフによる日々のメンテナンスと独自の情報処理技術を基盤としています。豊富な情報量と高い品質を兼ね備え、医薬品情報によって病気の治療や健康をささえる「情報医療」の推進に貢献します。

詳しくはこちらから → <https://www.data-index.co.jp/>